



あおいにし

4月号

令和5年4月7日

浜松市立葵西小学校

お子様の御入学・御進級おめでとうございます

【始業式の校長の話】

新しい学年が始まるこの日、今年度もみんなの心に留めておいてほしい言葉があります。もうわかりますね。「やれば できる。」です。これから1年頑張ろうと思っている皆さんに、ぴったりの言葉だと思えます。

この言葉の意味は「自分の力を信じる。」ということ、「自分の力を信じて、頑張ろう、できるようになりたいと思ったこと」は、きっと「やれば できる」ということです。

みなさんWBCは見ましたか。ダルビッシュ選手や大谷選手を中心に素晴らしいチームワークで日本が見事優勝を勝ち取りました。ワクワクドキドキするすばらしい試合の連続でした。その日本チームを率いた栗山監督が優勝後のTVのインタビューで言っていた言葉です。アナウンサーが「優勝できると思っていましたか？」と質問したところ、監督はこう答えました。「優勝できるかできないかではなく、とにかく優勝に向けて、自分たちがやるべきことをやるかやらないかだと思っていました。」短くすると「できるかできないかではなく、やるかやらないかが大事だと考えていた。」となります。

この言葉を聞いて、「本当にそうだな。」と思いました。結果も大事だし、気になるけれど、まず「やってみる」こと「チャレンジする、挑戦する」ことが大切だなと思いました。だから、みんなにも、「やればできる」の言葉を思い出しながら「チャレンジする、挑戦する。」1年にしてほしいなと思います。

「やれば できる」ようになるためにはどうすればいいかを、もう一度確認しておきますね。校長先生が、これが大切！と思うこと・・・それは、人と仲良くすることです。チャレンジするため、できるようになるためには、自分一人の力では難しいですね。先生に教えてもらったり、友達と励まし合ったり、お家の人に支えてもらったりすることがとても大切です。だから人と仲良くすることがとても大切です。

そして、人と仲良くするために心掛けるといいことの一つ目は、命を大切にすること。自分や友達、動植物の命を大切にできる優しい人は、周りの人が必ず助けてくれます。

二つ目は、挨拶を頑張ることです。挨拶は人と人の心をつないでくれます。自分ができる精一杯の挨拶ができるといいですね。「ありがとう。ごめんなさい。」という言葉も大切な言葉ですね。

三つ目は、人に優しくすること。だれかに優しくしてもらうと、とてもうれしくなりませんか。力がわいてきませんか。人に優しくすることで、お互いにもものすごく大きなパワーが生まれると思います。

ここにいるみんな一人一人が素晴らしい力を持っています。ぜひ、自分の力を信じて、「やればできる」の気持ちで「まずはやってみよう。」「チャレンジしてみよう。」そんなみんなの姿を見ることを楽しみにしています。

先生たちも、皆さんを一生懸命応援していきます。

【学校長 水野 希樹】